

部門	室名	室の使い方等	特記事項	建築					電気				機械				備考
				床下地	床仕上	天井仕上	壁仕上	流台	照度(LX)以上	電話	テレビ	LAN	冷暖房	換気	給排水	給湯	
共通事項			<p>【一般共通事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広がりや明るさを感じさせる空間とし、圧迫感のない、空間・色彩・照明計画とすること。 ・採光窓については、自然光が公式競技や興行等利用時の妨げとならないよう、遮光装置を設けること。 ・遮光装置は、湿気に強い製品とすること。 ・遮音、吸音を考慮すること。 ・内外問わず、窓には全てカーテン、ブラインド又はロールスクリーンを設けること。 ・ドライゾーンとウェットゾーンを明確に区分したゾーニングとすること。 ・水温調整については「プール公認規則」に従い、各競技に適した温度設定が可能とすること。 ・室温についてはプール全体の温度分布に留意し、観客席と競技床面それぞれに快適な温度分布を維持する空調システムとすること。 ・大型映像装置はメインプール・メインリンクゾーンに1面を設置し、プール（スケートリンク）及び観客席から支障なく表示内容が確認出来るサイズ及び位置とすること。 ・音響対策に十分に配慮し、残響が少なく明瞭度の高い音響計画とすること。 ・メインプール・メインリンクゾーンと通年プールとは間仕切りを行い、各々が個別利用できるように音環境に配慮すること。 ・床荷重については必要な数値を設定すること。 <p>【大規模な公式大会を想定した対応事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公認プール施設要領」に定める競技用具のうち、自動審判計時装置等の設備備品の配線等の工事を伴うものは、配線ルート等を埋設で計画すること。 ・計時計測設備及び大型映像装置と連動した館内共聴設備を設置すること。 														
プール・スケートリンク関連諸室	メインプール	<ul style="list-style-type: none"> ・レーン数は10レーンとし「プール公認規則」による公称50m国内基準競泳プール、公認10レーンとすること。 ・「プール公認規則」による国内基準水球プールの公認取得が可能な計画とすること。 ・「プール公認規則」による国内基準公認アーティスティックプールの公認取得が可能な計画とすること。 ・競技利用と一般利用を想定すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要求水準書のとおり。 	G	提案	提案	提案		2,500 水面上1m	○		○	○	○	○	遮光、循環ろ過装置、可動床、大型映像装置、 水温 競技中常に25℃以上28℃以下 水球競技は25℃以上27℃以下（公認規則） 遊泳時28℃～30℃程度 室温 競技会開催時は水温-2～3℃程度（公認規則） 一般時は水温+1.5℃程度（30℃前後）	
	メインリンク	<ul style="list-style-type: none"> ・国際規格（60m×30m） ・一般滑走の他、以下の競技を想定したリンク。フィギアスケート、アイスホッケー、ショートトラック 	<ul style="list-style-type: none"> ・要求水準書のとおり。 	—	—	提案	—		2,500	○		○	○	○	○	遮光、可動床、大型映像装置、	

部門	室名	室の使い方等	特記事項	建築					電気				機械				備考		
				床下地	床仕上	天井仕上	壁仕上	流台	照度(LX)以上	電話	テレビ	LAN	冷暖房	換気	給排水	給湯			
プール・スケートリンク関連諸室	サブプール	・主に競泳の大会時の練習施設としての利用、水球・アーティスティックスイミングの練習利用を想定。	・要求水準書のとおり。	G	提案	提案	提案		600 水面上1m	○		○	○	○	○	○	○	遮光、 循環ろ過装置 水温 競技中常に25℃以上28℃以下 水球競技は25℃以上27℃以下（公認規則）遊泳時28℃～30℃程度 室温 競技会開催時は水温-2～3℃程度（公認規則） 一般時は水温+1.5℃程度（30℃前後）	
	サブリンク	・リンクの大きさは18m×28m以上とする。 ・市民の一般利用（幼児・初心者向け）のほか、カーリングやスケート教室、フィギュアスケートのコンパルソリー練習等を想定したリンクとする。	・要求水準書のとおり。	—	—	提案	—		600	○		○	○	○	○	○	○		
	通年プール	・レーン数は8レーン以上とし「プール公認規則」による公称25m国内基準競泳プール、公認8レーン以上とすること。 ・主に市民の一般利用を想定し、競泳の大会開催も可能とする。	・要求水準書のとおり。	G	提案	提案	提案		600 水面上1m	○		○	○	○	○	○	○	○	遮光、 循環ろ過装置 水温 競技中常に25℃以上28℃以下 水球競技は25℃以上27℃以下（公認規則）遊泳時28℃～30℃程度 室温 競技会開催時は水温-2～3℃程度（公認規則） 一般時は水温+1.5℃程度（30℃前後）
	観客席	・プール、スケートリンクでの大会時の観客席として活用	・要求水準書のとおり。	G	提案	提案	提案		500					○	○			遮光	

部門	室名	室の使い方等	特記事項	建築					電気				機械				備考
				床下地	床仕上	天井仕上	壁仕上	流台	照度(LX)以上	電話	テレビ	LAN	冷暖房	換気	給排水	給湯	
プール・スケートリンク関連諸室	プールサイド	・大会役員席や競技指導を行う場所としても使用する。	・メインプールの周囲には、大会運営に支障がない十分な寸法を確保すること。 ・サブプールの周囲は大会時に選手がウォーミングアップを行うこともできるよう、十分な寸法を確保すること。 ・仕上げ等、利用者の安全性に配慮した計画とすること。 ・プール廻りの床下配管が点検できるように配慮すること。	G	提案	提案	提案		600	○		○	○	○		室温 競技会開催時は水温-2~3℃程度(公認規則)一般時は水温+1.5℃程度(30℃前後)	
	リンクサイド	・大会役員席や競技指導を行う場所としても使用する。	・メインリンクの周囲には、大会運営に支障がない十分な寸法を確保すること。 ・サブリンクの周囲は大会時に選手がウォーミングアップを行うこともできるよう、十分な寸法を確保すること。 ・リンクサイドは、ゴムマットとし、適宜休憩用のベンチ等を設置すること。	-	-	提案	-		600	○		○	○	○			
	記録室	・大会時に大型映像装置を操作する室として機能すること。 ・協議判定及びタイムを記録する室として機能すること。	・十分な機器スペース及び操作スペースを確保すること。 ・室内にて大型映像装置の画面及びスタート位置及びゴールサイドが容易に確認できる配置とすること。 ・プールサイド(リンクサイド)に直結する出入口を設けること。 ・プールサイド(リンクサイド)に面した位置とし、プールサイド(リンクサイド)側をガラス張り等にするにより目視が容易に行えること。	OA	TC	DR	EP		500	○	○	○	○	○		遮光	
	放送室	・大会時等に館内の放送を行う。	・十分な機器スペース及び操作スペースを確保すること。 ・プール(スケートリンク)に近接し、記録室に近接して設ける。 ・更衣室と動線上接触しないこと。 ・ロッカー、椅子、テーブル、ホワイトボードを設置すること。	G	VS	DR	EP		500	○	○	○	○	○	○	洗面台	
	選手招集室	・競技前の招集室として使用する。 ・待機する選手数を必要数想定すること。	・2室設けレーン数分の選手が一列に整列できる幅と、4~5列分の奥行を確保すること。 ・選手招集室の前室となるアクアラウンジを隣接して設ける。 ・更衣室及びプールとの動線に配慮した計画とすること。 ・通常は会議室等として使用する提案も可とする。	G	提案	提案	提案		500	○		○	○	○	提案 提案		
	役員室	・大会時には競技役員、大会役員が控え、観覧する室として使用する。 ・大会時以外には会議室等として利用する。	・選手動線が役員室前を通らない計画とすること。 ・競技役員の更衣ブースを適宜設けること。 ・プールサイド(リンクサイド)に面した位置とし、プールサイド(リンクサイド)側をガラス張り等にするにより目視が容易に行えること。 ・放送、記録室と近接した位置とすること。	OA	TC	DR	EP		500	○	○	○	○	○			
	医務室	・プール、スケートリンク及び施設内でのけが人、急病人等の応急処置を行う室として機能すること。	・プール(スケートリンク)との円滑な動線に配慮すること。 ・事務室や監視員室との位置関係や、救急車の外部寄り付きスペース、ストレッチャーの動線(扉寸法、廊下幅員等)を考慮した計画とすること。 ・室内に流し台を設けること。	G	VS	DR	EP	○	500	○		○	○	○	○	洗面台	
	ドーピング検査室	・大会時等のドーピング検査のための室として使用する。	・観客や報道関係者、来賓等の部外者が近付くことができない場所に設置すること。 ・検査対象選手のプライバシーに配慮した室配置、動線計画であること。 ・室内にトイレを配置又はトイレを直近に配置すること。 ・その他の室とドーピング検査室を兼ねることも可とする。	提案	提案	DR	EP		500	○		○	○	○	○		
	貸靴室	・スケート靴の貸出及び貸出備品の受付・管理を行う。	・貸靴は需要予測を行い、必要な速数を備えること。 ・貸出方法は、対面対応やセルフサービスなど事業者にて提案する。 ・修理を行うスペースを確保し、スケートの研磨機などを設置する。	G	VT	GB-D	EP		200						○		
採暖室	・プール、スケートリンク使用時に、利用者の休憩場所等として利用する。	・プールサイド(リンクサイド)に面した位置とし、プールサイド(リンクサイド)側をガラス張り等にするにより目視が容易に行えること。 ・室温35~40℃が保てる部屋。 ・衛生的な管理ができ、衛生的に使用できる構造とする。	G	提案	提案	提案		200	○			○	○				

部門	室名	室の使い方等	特記事項	建築					電気				機械				備考	
				床下地	床仕上	天井仕上	壁仕上	流台	照度(LX)以上	電話	テレビ	LAN	冷暖房	換気	給排水	給湯		
プール・スケートリンク関連諸室	整氷車倉庫	・リンク整備用の整氷車庫、その他リンク整備機械を収納する。	・整氷車倉庫は、スケートリンクに面し、かつ外部との搬出入に配慮すること。 ・整氷車倉庫付近には、融雪設備を設けること。	G	提案	提案	EP		200						○			
	器具庫	・プール、スケートリンク関連機器、備品類の収納場所として使用する。	・プール、スケートリンクとの動線に配慮すること。 ・メインプール・メインリンクゾーン用及び通年プールゾーン用共に、プール、スケートリンク関連機器、備品等を十分に収納できるスペースを確保すること。 ・外部からの大型備品搬出入にも対応できるように配慮すること。 ・冬季等においては壁面が結露し、床面が濡れないように配慮すること。 ・薬品等を保管する倉庫は、利用者がみだりに立ち入り出来ない構造とすること。 ・出入口に十分な幅を確保すること。 ・保管物品の状態を保つために湿気対策を講じるとともに、出隅部分等はクッション材で防護すること。 ・室を一室とするか、分割とするか等の配置計画については事業者の提案による。 ・夏季と冬季で利用形態が異なることを踏まえ、器具庫は本施設とは独立して敷地内に確保してもよい。	G	VS		EP		200						○			
更衣関係諸室	更衣室	・プール、スケートリンク利用者のための更衣室として機能すること。 ・大会時には選手用の更衣室としても機能すること。	・メインプール・メインリンクゾーン及び通年プールゾーン用にそれぞれに、男女別として更衣室を設けること。 ・需要予測を行い、必要な数のロッカーを設けること。 ・更衣室からプール、スケートリンク及び各エリアへの動線に配慮すること。 ・シャワールーム、洗面所、トイレ等を整備すること。 ・ウェットゾーン側に前室を設け、ドライゾーンと明確に区分すること。 ・ドライゾーン部分の床面をドライに保つことができる機能を備えること。	G	提案	提案	EP		200					○	○	○	○	各種衛生器具
	多目的更衣室	・誰もが利用し易い更衣室として整備する。	・誰もが使いやすい多目的更衣室を独立して設けること。 ・バリアフリートイレを設けること。 ・プール、スケートリンクへの動線には段差が無いようにすること。 ・車いす使用者が利用できるシャワーブース、更衣ブースを設けること。 ・ロッカー、シャワーブース、手すり、ベンチ等を適所に設置すること。 ・ドライゾーン部分の床面をドライに保つことができる機能を備えること。	G	提案	提案	EP		200					○	○	○	○	各種衛生器具
	トレーニング室	・競技に必要な体力向上、健康増進等を目的にトレーニングを実施する場所として整備する。	・体操や各種機器により運動負荷を与えることによる体カトレーニングを実施する場所として整備すること。 ・機器の設置に当たっては、各々の間隔を十分に確保すること。 ・ストレッチスペースを適宜設けること。 ・設置機器の重量に応じた適切な床荷重を設定すること。また、設置機器の衝撃を吸収する等の配慮を行うこと。 ・上足での使用を原則とし下足エリアとの明確な区分を行うこと。	鋼製	提案	DR	提案		300					○	○	○	○	洗面台

部門	室名	室の使い方等	特記事項	建築					電気				機械				備考
				床下地	床仕上	天井仕上	壁仕上	流台	照度(LX)以上	電話	テレビ	LAN	冷暖房	換気	給排水	給湯	
管理関係諸室	事務室	<ul style="list-style-type: none"> 本施設の管理運営に必要な事務を行う。 受付、案内機能を併設する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全館放送可能な設備を設けること。 その他の仕様については維持管理、運営に基づいた事業者提案による。 受付、案内はメインエントランスに面して計画すること 受付カウンターを設置すること。 監視員部分の特記仕様を参照すること。 	OA	TC	DR	EP	○	500	○	○	○	○	○	○	○	
	監視員室	<ul style="list-style-type: none"> プールの安全管理、監視、事故防止のための監視指導員のための室として使用する。 メインプール・メインリンクゾーンと通年プールゾーンに設置すること。 	<ul style="list-style-type: none"> プールサイドに面した位置に設け、ガラス張り等により目視が容易に行えること。 死角なくプール全体を見渡すことができること。また利用者にとっても分かり易い位置に設けること。 可動床の制御装置を設置すること。 更衣室を2室設ける。 	OA	TC	DR	EP		500	○	○	○	○	○	○	○	洗面台
	中央監視室	<ul style="list-style-type: none"> 設備機器の運転監視、防災監視、機械警備の主装置の制御を行う室として使用する。 警備員室を兼ねるため、保守管理・警備業務従事者が使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種設備機器の運転監視を行えるようにすること。 本施設内の自動火災報知設備の受信機を設置すること。 機械警備設備の主制御装置を設置すること。 本施設への入館・退館時の通用口に近接して設けること。 搬出入口への動線に配慮すること。 本施設内外に設置する防犯カメラの映像を観ることができるようになること。 	OA	TC	DR	EP	○	500	○	○	○	○	○	○	○	
共用エリア	エントランスホール、ホワイエ	<ul style="list-style-type: none"> 通常時の一般利用者のためを主とした1階のエントランス空間として使用する。 大会時の観客のためを主とした2階のエントランス空間（ホワイエ）として使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模大会開催時に、入場可能数に応じて、一時的に観客が集中した際にも安全な状態が維持できる広さを確保すること。 1階エントランスホール及び2階ホワイエから観客席エリアへ通ずる経路は、入場可能数に応じた幅員を確保し、観客の通行時や一時的な滞留時にも支障がない、十分な広さを確保すること。 開放的な空間とし、ロビーを隣接して設ける等、適宜ベンチ等を設置し、休憩、談話スペースとしての機能も有すること。 大規模大会時の受付や総合案内、飲食物を含む物販対応等に配慮した、ゆとりを持った面積を確保すること。 本施設の案内や、スポーツに関する情報を掲示するスペースを設けること。 	提案	提案	提案	提案		300	○		○	○	○			
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 施設来場者が利用するトイレとして計画すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 来場者の動線に配慮すること。 利用者数、観客数等を考慮した便器数・配置とすること。 男女トイレ内には各1か所ずつベビーベッドを設けること。 子ども用便座も適宜設置する等、子どもの利用に配慮すること。 その他、高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。 手洗いは自動水栓とすること。 小便器は個別自動洗浄小便器、大便器は洋式便器とすること。 洋式便座には擬音装置を備えた温水洗浄装置を設けること。 女性トイレにはパウダーコーナーを設けること。 便座クリーナー用ディスペンサーを設けること。 エアータオルを設けること。 ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け、小便器間やブース扉にはフックを設けること。 イベント開催時における女子トイレの混雑に対応できるよう工夫すること。 	G	VS	DR	提案		200					○	○	○	
	バリアフリートイレ	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが利用し易いトイレとして計画すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者を考慮した位置に設けること。 手洗いは自動水栓とすること。 洋式便座には擬音装置を備えた温水洗浄装置を設けること。 便器はセンサー式洗浄とすること。 オストメイトに対応した設備を設けること。 シャワー金具はサーモスタット付きとすること。 ベビーベッドを設けること。 エアータオルを設けること。 その他高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。 	G	VS	DR	提案		200					○	○	○	
	授乳室	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児を同伴する施設利用者用として計画すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 調乳用シンク、ベビーベット、給湯設備等の必要な設備を設けること。 	G	VS	DR	提案	提案	200				○	○	○	○	

部門	室名	室の使い方等	特記事項	建築					電気				機械				備考
				床下地	床仕上	天井仕上	壁仕上	流台	照度(LX)以上	電話	テレビ	LAN	冷暖房	換気	給排水	給湯	
その他	搬入ヤード または 搬出入口		・出入口とは別途に通線溝（ケーブル、配管等用）を設けること。 ・外部には庇を設けるなど、搬出入の際の雨避け等に配慮すること。	C	防塵塗料	提案	提案			300					○		
	その他諸室		・給湯室を適宜計画すること。 ・職員更衣室や管理用倉庫等、必要と思われる諸室は適宜設けること。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	○	提案	提案	
	機械室 関係諸室	・機械室関係諸室として、電気室、発電機室、熱源 機械室、空調機械室、ろ過機械室、還水槽スペース、 消火ポンプ室等を整備すること。	・原則屋内設置とするが、事業者において最適な方法を計画すること。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	300	提案	提案	提案	提案	○	提案	提案
	自由提案 事業諸室			提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	○	提案	提案

<仕上げ凡例>

- ・床下地 C: コンクリートコテ押え、OA: OAフローア-H=100
 - ・床仕上げ TC: カーペットタイル(ナイロン)、VS: 長尺塩ビシート、VT: ビニルタイル
 - ・天井仕上げ DR: 岩綿吸音板、GD-B: 化粧石膏ボード
 - ・壁仕上げ EP: エマルジョンペイント、CC: 布クロス
- ※仕上げに関しては記載内容に対して同等以上とする。